

勝原裕美子著

## ビー・アサーティブ! 現場に活かすトレーニングの実際

[評者]

新見幸子

大阪市立看護専門学校 教務長

 定価2400円+税  
 医学書院  
 ☎03-3817-5657


21世紀は人権の時代とされ、医療においても人の優しさがより強く求められている。特にその活躍が期待されている看護職は、患者1人ひとりの多様なニーズにそった援助を行うために、医療チームの中での円滑なコミュニケーションが必要である。したがって、看護基礎教育においては、コミュニケーションに関する教育を充実させ、人の痛みがわかり生命と人権を尊重した対応ができる看護専門職を育成することが重要になる。

本書は、「他人の権利を尊重しながら、自分の権利を守る」ことを基本とした、アサーティブなコミュニ

ケーションを多くの看護職がとれることを念願し、職場でアサーティブトレーニングを実施しようとしている人たちや、トレーナーに向け書かれた教本である。そのため、トレーニングの運用や注意点、参考になる体験談が多く取り入れられている。また、著者が日本の社会や文化に合ったアサーティブネスとは何かを丹念に検証し、効果が上がると確証を得たトレーニング方法が示され、なるほどと実感できる貴重な実践書である。

本書の構成は、人間が行動の変化を起こす段階、つまり「知識、態度、個人の行動、集団の行動」と進む、

参画的变化サイクルに基づき、Step 0からStep 9の過程を経て習得できるようまとめられている。

Step 0からStep 7では、明確な目標をもって取り組めるよう講義・演習が提示されており、中でもStep 2の演習では、リーダーチャートで自分のアサーティブネス傾向・ノンアサーティブネス傾向を確認することができる。

続くStep 8では、実際に使える行動レベルの能力を習得する段階で、ロールプレイで身体を動かし、他者の意見も取り入れ、よりアサーティブになるために必要な行動を見出す過程となっている。

アサーティブネスは誰にでも必要な技術である。看護基礎教育におけるコミュニケーションスキルを充実させる教本として、また、教員と学生が生き生きと日常的教育活動を行う支援書として、本書を活用されることをお勧めする。

## NURSING BOOK INFORMATION

医学書院

# 困ったときの透析患者の看護

編集 宇田有希

●A5 頁248 2003年  
 定価2,730円(本体2,600円+税5%)  
 [ISBN4-260-33283-X]

透析患者の看護を行うなかで、「困った患者さん」への対応に迷う場面は多い。本書では、透析導入をためらう患者、自己管理が困難な患者、透析に伴う苦痛を訴える患者など、さまざまなケースをとりあげ、看護上の問題を解決するための具体的方策を解説。教科書には載っていない、ベテランナースの「臨床の知」を知るための1冊。